

総務常任委員会

委員長 仲一 伸一
副委員長 長 ちえ子
委員 小暮 道雄
門倉 代子
堀口 輝好
田中 和美
高橋 清
早野

3月5日・6日の2日間にわたり委員会を開催し、付託議案11件を審査しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○本庄市部設置条例の一部を改正する条例

問…「産業に係る投資及び連携に関すること」を経済環境部に移管するとは、具体的には、どのような事業を移管するのですか。

答…企画財政部が所掌している「企業の誘致」に関する事務を移管します。

○本庄市特別職の職員で非常勤ものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問…この改正で追加される生活保護等適正化支援員などの報酬額について、単価等の基準はないのでしょうか。

答…近隣の市町において同じ仕事をしている特別職の報酬額を勘案して定めており、職種による単価の基準などはありません。

○平成29年度一般会計補正予算

問…施設整備等基金に12億7000万円を積み立てている一方で、小学校施設整備事業では約4億2000万円の地方債を発行している。基金として積

み立てずに小学校施設整備の財源としたほうがよいのではないのでしょうか。

答…小学校施設整備事業は国の補正予算の対象事業となり、有利な条件で借りられるため、地方債を充てることとしました。

○平成30年度一般会計予算

問…オリンピック・パラリンピックの競技体験教室の内容はどのようなものですか。

答…小学生を対象に、パラリンピック競技種目の体験や、競技を行っている方の講話などを予定しています。

問…旧本庄商業銀行煉瓦倉庫のライトアップについては、どのような考えから出てきた事業なのでしょう。

答…旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、市のランドマークとして、まちなかの賑わい創出の役割を担っています。夜間も人に集まってもら

う仕掛けとして、ライトアップを考えています。



旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

建設産業常任委員会

委員長 雅寿
副委員長 長 康博
委員 山田 豊
山口 一郎
榎田 綾子
柿沼 信
岩崎 裕
小林 猛

3月7日・8日の2日間にわたり委員会を開催し、付託議案12件を審査しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○本庄市都市公園条例の一部を改正する条例

問…運動施設の面積割合の上限を敷地面積の100分の50とした根拠を伺います。

答…本庄市では運動施設の割合が高い若泉運動公園では40%を超えますが、今後の想定でも50%を超えません。



本庄総合公園

○平成30年度一般会計予算

問…こだま本校の剪定等はどのような行うのですか。

答…こだま本校は、老木化が進み、大木となったものがフェンスを傷めている場所があるため、高所作業車による伐採等を委託で実施するものです。

問…インフォメーションセンター運営

員がはしご等を使って実施します。

事業で、改修のため一時的に、指定管理者から業務委託へ変更になるが、なぜ委託料が高くなるのか伺います。

答…指定管理者制度では、施設使用料や物産品の売り上げの一部が収入となるため、委託料が低く抑えられています。また、主に業務に係る人件費も積算の結果、増額となりました。

問…計画に基づき全世帯について、水洗化を実施する予定です。平成29年度に田中地区から開始しました。

問…下水道事業で作成したマンホールカードは、どこで配布するのですか。

答…カードの発行を許諾する日本下水道協会の定めにより、配布場所は各自自治体1箇所を前提に、下水道事業を所管する部署で配布する予定です。

このほか、市道路線の廃止7路線と認定23路線について、現地を視察し、確認を行いました。付託議案については、全て原案のとおり可決すべきものと決しました。



市道路線の現地視察

厚生文教常任委員会

委員長 高志規
副委員長 英亮
委員 田中清
委員 矢野間 英亮
委員 内田清 静子
委員 清水沼 光男
委員 町田美 津子
委員 林 富司

3月5日・6日の2日間にわたり委員会を開催し、付託議案19件を審査しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○本庄市介護保険条例の一部を改正する条例

問…介護保険料の引き上げの根拠について伺います。

答…第7期介護保険事業計画の対象期間は、平成30年度からの3年間です。3年間の介護保険の事業費の総額は、177億7700万円。そのうち第1号被保険者の負担分が43億2000万円、予定収納率を勘案すると、1人あたりの月額基準額が5551円と算出されます。これを基金の投入により、451円抑制し、月額基準額を5100円とし、現行の月額基準額と比較して100円の上昇に抑えたものです。



介護予防の取り組み

登録者数の状況を伺います。

答…この事業を開始してから、登録者数は、毎年、増加しています。平成30年1月31日現在の状況として、登録者数は1212名となっています。

問…不妊治療費助成事業では、リーフレットの配布を行うとのことですが、その内容について伺います。

答…不妊治療費助成金については、必要になる可能性のある方に、できるだけ周知をしたいということで、リーフレットの作成を予定しています。婚姻届や転入届の提出時に配布することを考えていますが、今後、どのようなタイミングで周知を図るかということも、あわせて検討していきます。

問…図書館サービス事業の備品購入費1372万2000円については、どのような見込みで計上したのか伺います。

答…こちらは、図書の購入費です。図書8000冊、紙芝居20セット、DVD40枚、CD30枚ほどの購入を見込んでいます。



図書館本館

17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

委員長 富司一郎
副委員長 田中平
委員 林 英亮
委員 内田倉 道雄
委員 門巴 高志
委員 小暮ち え子
委員 富田 雅清
委員 早野 清

○事業の進捗状況

国道17号バイパス本庄道路は、群馬県高崎市新町から深谷市岡までの13.1kmを2区間に分け、現在、高崎市新町～本庄市沼和田までの延長7kmを整備しています。この間の用地取得と神流川橋架替工事が進められています。



神流川橋架替工事現場
(群馬県側から見た橋脚)



神流川橋架替工事現場
(埼玉県側から見た橋脚)

○特別委員会の活動状況

この特別委員会は、主に国道17号バイパス本庄道路の早期整備のため、国等の関係機関への要望活動を行っています。

ます。

昨年は、3月に政権与党である自由民主党と公明党を訪問し、予算づけと一日も早く現在整備している区間の工事が終わるよう要望しました。

6月には国土交通省の大宮国道事務所を訪問し、事業の進捗状況について説明を受けました。

9月には地元選出の国会議員の案内で自由民主党、国土交通省、財務省を訪問し、本庄市内の道路事情を説明し、バイパスの必要性を伝えてきました。

11月には国土交通省にて国土交通大臣に面会し、国道17号の現状とバイパスの必要性を説明しました。その後、財務省を訪問し、平成30年度の予算編成作業中の多忙を極めているところでしたが、予算の取りまとめを行う立場の方に要望書を手渡ししました。

このような継続した要望活動により、国道17号バイパス本庄道路の国の予算は、ここ数年は前年度の予算と比べて毎年5億円程度ずつ増えています。平成30年度当初予算は、約21億円となりました。

今後も、一日も早い開通に向け、市議会一丸となって関係機関へ働きかけを行っています。